

スポーツ

私は、緑できれいなあすなろ広場が好きです。ここではかままつりなどが行われます。祭りが無い時は広い場所なのでサッカーなどをして友達や家族と遊べるから好きです。遊んでいる時に木のゆれる音が大好きで、おひまわりの気持ちがあふれます。

鹿西町(現中能登町)出身のシンガー・ソングライター今町衣里さん(26)のコンサート「の」とのおとが三十日、宝達志水町荻谷の県指定有形文化財岡部家で開かれた。今町さんが作詞作曲した、宝達志水町のイメージソング「小さな鉄」がメーンソング。今町さんの活動を知り、町



「小さな鉄」を披露した今町衣里さん。宝達志水町荻谷の岡部家で

鹿西出身・今町さん発表

歌と巡る 宝達志水

イチョウ並木の坂を上って わが町を眺める 見渡す限り広がる野原 やわらかな風が吹く
白藤の花 百日紅の花 一重薄紅枝垂桜 四季折々の彩りが この町にはある
砂利の道を上って 後ろを振り返る 母なる海へ還り行く 千里浜の夕日
押水の色 志雄の色 それぞれ放つ色がある ふたつの色を織り成して 歴史を刻めよ

の発表もあり、八十人が耳の傾けた。町内を拠点に活動する「芸術を愛する会」が主催した。今町さんの祖父文吉さんは、押水町(現宝達志水町)の出身で、会長山田文彦さん(70)のこと。今町さんの活動を知り、町

宇出津に響け歌声 コンサート 岩手からの参加も



力強い歌声を披露するまっときん。能登町宇出津のコンサート。地元音楽愛好家ら七組が出演する「旅立ちのコンサート」(20日、21日)のコンサ

の歌の制作を持ち掛けた。歌詞は、故郷の中能登と 同じく、合併により誕生した宝達志水の調和と発展を願っている。町内を巡ったとき、見た景色を織り込んだ。曲名は一週間悩んだ後、色とりどりの町内から着想し、パレットの語源から名付けた。ギターは弾き語り、披露。演奏が終わると、温かい拍手を受けた。今町さんは「祖父が押水の出身だといつもあって親しみを持ってもらったのだと思うので、あらためて感謝したい。県内外を問わず、歌いたい」と語った。今町さんの中学生からの友人、堀内瑠子さん(26)の伴奏による「世界に一つだけの花」や、ジャズとのセッションもあった。(林修史)

穴水で、車中泊してみた。

ユーチューバー・勝村さん



車中泊の様子を撮影する勝村知由さん。穴水町川尻で

動画サイト「YouTube」で車中泊の面白さを発信しているユーチューバーの勝村知由さん(31)福井市が二十九、三十の両日、穴水町川尻で、自家用車で宿泊しながら撮影に取り組んだ。この動画は四月五日午後七時、公開される。勝村さんは大学を卒業した後、インターネットのポータルサイトを運営する大手企業で十年間働いた。二〇一八年春に退職し、ユーチューブに動画を投稿し収入を得るユーチューバーに転身。「ともさ

来月5日公開予定

寝床準備や炊事時撮影

ん」の名称で活動している。「二、二年で車中泊やテント泊への注目が高くなり、動画の再生回数も多くなった」と分析。そうした流行を踏まえ、一月から車中泊を題材にした動画を作り始め、今回で二回目の宿泊となる。車中泊できる場所が掲載されているサイト「Carstay」で自宅から移動しやすい町内を選び、民家の敷地内に駐車。一泊千八百円で泊まった。一眼レフカメラの動画機能で、後列の座席を倒した状態で寝床を準備するところや炊事の様子などを撮影。初めて取り入れた寝袋やカーテンの使い心地が見どころになるといふ。勝村さんは車中泊の魅力を「どこでも行くことができる大人の秘密基地」と語る。初めて訪れた町内について「海が近くて穏やかな地域。泊まるだけでなく体験型プログラムでも撮影したい」と胸を膨らませていた。詳しくはユーチューブで「ともさん」で検索。(田井勇輝)

北陸少年サッカー開幕



県内外の児童サッカーチームが出場する「第二十八回北陸宝達志水少年サッカー大会」(宝達志水町サッカー協会主催、押水FCジュニオール父母の会主管、北陸中日新聞後援)が三十日、同町宝達中学校で開幕した。三十一日まで。宝達志水町や羽咋市など県内のほか、滋賀県や福井県、富山県などから二十チームが参加。三十日は五組の予選リーグに分かれ、総当たりで順位を決めた。選手宣誓をした押水FCジュニオール(同町)のキャプテンの高野翔選手(17)は「周りが驚くようなプレーをして、良い成績を残したい」と抱負を語った。初日は、あいにくの天となったが、雨や寒さにもかかわらず、児童たちは熱戦をり広げた。(林修史)



田鶴浜Jrスポーツクラブ 新年度活動へ開講式 七尾市内の小学生らがさまざまなスポーツに取り組む田鶴浜ジュニアスポーツクラブの開講式が三十日、七尾市田鶴浜体育館で

珠洲焼植木鉢作り 来月開催、参加を市陶芸センター 珠洲市陶芸センターは四月十四日午前九時から開く、珠洲焼体験「珠洲焼の植木鉢作り」の参加者を募集している。珠洲焼をPRする珠洲焼製作特別体験企画の一環。職員の手導で「コ」の粘土を使って、植木鉢を作る。形状などは自由だが、粘土の量から円形の高さ十センチ、直径二十センチほどが一個できるという。参加料は一人五百円。申し込みは四月十三